

## 令和6年度主な事故

### 1. 特別養護老人ホーム友愛園

利用区分	事故発生日	事故発生場所	事故発生内容の概要		被害状況	家族等への連絡状況	入院期間	見舞金額	主な事故防止対策他	
1	短期入所	R06.05.31	浴室	表皮剥離	・入浴のために脱衣した際、右前腕部、及び左上腕部に表皮剥離を発見する。 ・創部の範囲が大きいことから、病院受診する。 ・創部の処置を受け、通院にて治療となり、帰園する。	右前腕部、及び左上腕部表皮剥離	同日、家族(妻)に電話にて報告する。	無	無	・移乗介助中、或いは座位を整える際に車椅子のアームレスト等に強く接触したことが原因であることから、移乗時は、職員の首に両腕をまわしてもらった事を確認後、移乗介助を行うことを徹底する。
2	入所	R06.07.03	居室	骨折	・一部介助にて車椅子からベッドに移乗し、臥床介助を行ったが、その後、左下腿部の痛み、及び腫脹が見られた為、病院受診する。 ・レントゲン検査の結果、左脛骨骨幹部骨折の診断を受け、そのまま入院となる。	左脛骨骨幹部骨折	同日、家族(長男)に電話にて報告する。	R6.7.3 ～ R6.7.22	無	・移乗介助時に、下肢に負荷が掛ったことから、2人で移乗介助を行うことを徹底する。 ・身体状況に応じて、タオルケット等を利用して移乗介助を行う。
3	短期入所	R06.08.02	食堂	転倒	・食堂内のソファから、立ち上がり時にバランスを崩し転倒する。 ・外傷がないことから経過観察していたが、左大腿部に痛みの増強がみられた為、病院受診することとなる。 ・検査の結果、左大腿骨頸部骨折の診断を受け、そのまま入院となる。	左大腿骨頸部骨折	同日、家族(妻)に電話にて報告する。	R6.8.2 ～ R6.8.28	無	・ソファは、必ず目視できる位置に設置し、利用者の動きがあった場合、迅速に対応できるように努める。 ・シルバーカー、歩行器、杖等の補助具を使用していただく。
4	入所	R06.10.19	居室	転倒	・訪室時、ベッド横で左側臥位で倒れているところを発見する。 ・外傷がないことから経過観察していたが、左大腿部に痛みの増強がみられた為、病院受診することとなる。 ・検査の結果、左大腿骨頸部骨折の診断を受け、そのまま入院となる。	左大腿骨頸部骨折	同日、家族(長女)に電話にて報告する。	R6.10.19 ～ R6.11.13	無	・離床センサーマットの設置を検討し、転倒予防に努める。 ・夜間、起床時は、声掛けを行い、トイレ誘導、及び見守りが適うところで経過していただくよう努める。
5	入所	R06.10.22	居室	転倒	・訪室時、ベッド横で仰臥位で倒れているところを発見する。 ・後頭部、及び腰部に強い痛みが見られた為、救急搬送する。 ・検査の結果、尾骨骨折の診断を受け、そのまま入院となる。	尾骨骨折 後頭部打撲	同日、家族(長女)に電話にて報告する。	R6.10.22 ～ R6.11.18	無	・離床センサーマットを設置し、動きの把握に努める。 ・離床時は、ナースコールで知らせていただくように繰り返し説明する。 ・生活リズムの把握に努め、離床時等の見守りの強化を図る。

## 令和6年度主な事故

6	入所	R06.12.09	居室	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪室時、ベッド横で仰臥位で倒れているところを発見する。</li> <li>・外傷がないことから経過観察していたが、右大腿部に痛みの増強がみられた為、病院受診することとなる。</li> <li>・検査の結果、右大腿骨頸部骨折の診断を受け、そのまま入院となる。</li> </ul>	右大腿骨頸部骨折	同日、家族(長女)に電話にて報告する。	R6.12.9 ～ R7.2.6	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室巡回を強化すると共に、離床センサーマット、及びベッド柵センサーを設置し、動きの把握に努める。</li> <li>・ベッド周辺の整理整頓に努め、靴が履きやすいスペースを確保する。</li> </ul>
7	入所	R06.12.26	居室	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪室時、ベッド横に仰臥位で倒れているところを発見する。</li> <li>・外傷がないことから経過観察していたが、左大腿部に痛みの増強がみられた為、病院受診することとなる。</li> <li>・検査の結果、左大腿骨骨折の診断を受け、そのまま入院となる。</li> </ul>	左大腿骨骨折	同日、家族(長女)に電話にて報告する。	R6.12.26 ～ R7.2.28	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッド横に衝撃緩和マットを設置し、転落時の受傷リスクを低減する。</li> <li>・日中は、できる限り見守りが行えるように、離床してフローア等で過ごしていただく。</li> </ul>

## 令和6年度主な事故

### 2. 養護老人ホーム高岡園

利用区分	事故発生日	事故発生場所	事故発生内容の概要		被害状況	家族等への連絡状況	入院期間	見舞金額	主な事故防止対策他
1 入所	R06.07.11	正面玄関	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・突然、正面玄関から外へ走り出し、10m程走った所で前方に転倒する。</li> <li>・地面に両手を突き、顔面を打撲し、下顎部を裂傷する。両手掌、下顎部の出血、及び顔面を打撲していたことから、病院受診する。</li> <li>・顔面の骨折、頭部の異常等は見られず、創部の処置後、経過観察の指示を受け、帰園する。</li> </ul>	顔面打撲、及び下顎部裂傷、両手掌擦過傷	・同日、身寄り無しのため、措置担当福祉事務所へ報告する。	無	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員が本人の所在を共有し、見守りを強化する。</li> <li>・日中は見守りが可能な範囲で過ごしていただく。</li> <li>・頻回に安否を確認するため、ワーカー室に近い居室へ変更する。</li> </ul>

## 令和6年度主な事故

### 3. 特別養護老人ホーム彩葉

利用区分	事故発生日	事故発生場所	事故発生内容の概要		被害状況	家族等への連絡状況	入院期間	見舞金額	主な事故防止対策他	
1	入所	R06.06.07	脱衣室	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴のためズボンの脱衣介助中、立ち上がる際にバランスを崩し、右後方に尻もちをつくように転倒する。</li> <li>・右大腿部に腫脹、及び痛みが見られた為、病院受診する。</li> <li>・検査の結果、右大腿骨頸部骨折の診断を受け、そのまま入院となる。</li> </ul>	右大腿骨頸部骨折	同日、家族(長女)に電話にて報告する。	R6.6.7 ～ R6.6.28	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子からの移乗の際には、聞き取り易く、ゆっくり、はっきりした声掛けに努め、一つ一つの動作を確認しながら、介助を行うよう努める</li> <li>・使用していた車椅子は、フットレストが外れないタイプのものであり、移乗の際に右足が引っ掛かりやすい状態であったため、フットレストが着脱できる車椅子に変更する。</li> </ul>
2	短期入所	R06.08.09	食堂	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂で右側臥位で倒れているところを発見する。</li> <li>・痛みの訴え等なかったため、経過観察していたが、翌日、痛みが出現した為、病院受診する。</li> <li>・検査の結果、第三腰椎骨折の診断を受け通院にて治療となり、帰園する。</li> </ul>	第三腰椎骨折	同日、家族(長男の妻)に電話にて報告する。	無	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多動や不穏状態が強く、精神的に不安定である時は、こまめな見守りを実施し行動把握に努める。</li> <li>・レクリエーション、余暇活動等を通して不穏軽減に向けた関わりを行う。</li> <li>・精神面での不安定さが顕著に見られる場合は、担当ケアマネージャーと連携を図り、医療機関への受診を勧める等の対策を講じる。</li> </ul>
3	入所	R06.09.05	食堂	誤嚥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂にて食事をしていたが、顔面蒼白で咽込んでいるところを発見する。</li> <li>・咽込みが強く、呼吸困難な様子が見られた為、救急搬送する。</li> <li>・検査の結果、異常なく、経過観察の指示を受け帰園する。</li> </ul>	誤嚥	同日、家族(長男)に電話にて報告する。	無	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事姿勢等が安定しないときは、椅子の変更や座位時のポジショニングを行い、状態に応じて食事介助を行う等、誤嚥のリスク軽減に努める。</li> <li>・利用者ごとに食事時間を調整するなど、常に見守りができる環境を整える。</li> </ul>
4	短期入所	R06.10.24	居室	転落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内、ベッド横で右側臥位で倒れているところを発見する。</li> <li>・右前額部を打撲していたことから、病院受診する。</li> <li>・検査の結果、異常なく、経過観察の指示を受け帰園する。</li> </ul>	右前頭部打撲	同日、家族(長男の妻)に電話にて報告する。	無	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドの高さ、及び家具の配置等、居室内で安全に生活することができるように、ADLの状況に応じた環境整備に努める。</li> <li>・居室内における転倒・転落の危険性を伝え、必要時に応じて、ナースコールの使用や職員に声掛けしていただくよう繰り返し説明する。</li> <li>・センサーマットの設置を検討する。</li> </ul>

## 令和6年度主な事故

5	入所	R06.12.14	トイレ	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレにて、右側臥位で倒れているところを発見する。</li> <li>・右肩部を裂傷し出血が見られ、頭部を打撲していたことから、救急搬送する。</li> <li>・頭部打撲については、検査の結果、異常なく、経過観察の指示を受ける。</li> <li>・創部の処置を受け、通院にて治療となり、帰園する。</li> </ul>	右前額部打撲	同日、家族(長男の妻)に電話にて報告する。	無	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ誘導時は本人の意思を尊重しながら、ズボンの上げ下げの介助を行う等、排泄動作中の事故を防ぐ。</li> <li>・トイレ内における事故の危険性を伝え、必要に応じて、ナースコールの使用や職員に声掛けしていただくよう説明する。</li> </ul>
6	短期入所	R07.01.05	居室	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内で、右側臥位で倒れているところを発見する。</li> <li>・右後頭部に腫脹、及び左手甲に内出血見られたが、軽度の為、経過観察をしていた。翌日、ショートステイ退所後に頭部の痛みが増強し、家人により、病院受診する。</li> <li>・検査の結果、後頭部打撲を原因とする、くも膜下出血との診断を受け、そのまま入院となる。</li> </ul>	後頭部打撲、及びくも膜下出血	同日、家族(長男の妻)に電話にて報告する。	R7.1.6 ～	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部の打撲を確認した段階で、緊急性があるものとして捉え、考えられるリスクを想定した上で、早急に受診する。</li> <li>・ベッドの高さ、及び家具の配置等、居室内で安全に生活することができるように、ADLの状況に応じた環境整備に努める。</li> <li>・居室における事故の危険性を伝え、必要に応じて、ナースコールの使用や職員に声掛けするように説明する。</li> </ul>
7	短期入所	R07.01.09	不明	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助のため、脱衣すると、左前腕に内出血、及び表皮剥離を発見する。</li> <li>・創部の範囲が大きかった為、病院受診する。</li> <li>・本人によると「転倒した」とのことであつたが、転倒は確認できず受傷に至った経緯は不明。</li> <li>・創部の処置を受け通院にて治療となり、帰園する。</li> </ul>	右前腕部打撲、及び左前腕部表皮剥離	同日、家族(長男)に電話にて報告する。	無	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神的に不安定になり易く、不穏時は多動となることから、十分なコミュニケーションを図り、精神の安定を図る。</li> <li>・不穏時は、特に見守りの目が多くなるように職員間の情報共有を徹底する、</li> <li>・居室にて過ごされている際は、こまめな巡回、及び見守りを実施し、事故防止を図る。</li> </ul>
8	入所	R07.01.19	食堂	義歯破折	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者間で口論が発生し、興奮した相手が手に持っていた本を振り回した際に、本が口元に当たり、上顎の差し歯3本を破折する。</li> <li>・歯科往診にて、診察を受け、義歯作製となる。</li> </ul>	義歯破折	同日、家族(弟)に電話にて報告する。	無	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両者の関係性が良好ではないことから、ユニット、或いはフロアを異動し、接触する機会が無いように努める。</li> </ul>

## 令和6年度主な事故

### 4. 友愛園デイサービスセンター

利用区分	事故発生日	事故発生場所	事故発生内容の概要		被害状況	家族等への連絡状況	入院期間	見舞金額	主な事故防止対策他
1 通所	R06.12.05	リハビリコーナー	転倒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォータベッド終了後、立ち上がり移動しようとした際、その場に崩れるように転倒する。意識消失により呼びかけに反応がないことから、救急搬送する。</li> <li>・検査の結果、骨折や外傷等は認められず、不整脈による一過性の意識消失との診断を受け、そのまま入院となる。</li> </ul>	意識消失 打撲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同日、家族(長男)に電話にて報告する。</li> </ul>	R6.12.5 ～	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識消失を誘発しやすい姿勢や動作(長時間の立位、急に立ち上がる、いきむ等)の周知を図り、見守り、介助する。</li> <li>・ご家族との連携を強化し、体調の把握や異常の早期発見に努め、適切な受診、治療を図る。</li> </ul>

## 令和6年度 苦情等発生処理状況

### 特別養護老人ホーム彩葉

受付日	利用区分	分類	申立内容の概要	処理状況
R06.09.27	入所	苦情	<p>入所者の家族(姉)より、下記の点について、確認して欲しい。又、事実であれば改善して欲しいとの申し出があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ服を長期間着ている。本人に訊くと「入浴していない」と言っている。</li> <li>・入所時に依頼した、「顔の軟膏の塗布やおやつ」の提供もされていない」と本人から聞いている。</li> </ul>	<p>申立人に対して、経緯を報告の上、謝罪すると共に、改善策を約し理解を得る。</p> <p>〈経過〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴の間隔が不定期となり、更衣を行っていなかった。</li> <li>・職員間で情報の共有や伝達が不十分で、依頼事項を実施しない場合があった。</li> </ul> <p>〈改善策〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①体調不良等で入浴できない場合や衣類の汚染等で入浴や更衣の必要性がある場合は、入浴日や時間を変更する、適時更衣する等、柔軟に対応する。</li> <li>②入浴チェック表の確認を確実に行う。</li> <li>③軟膏の塗布、及びおやつの提供については、チェック表を作成し、職員間での申し送り、及び情報共有を徹底する。</li> <li>④軟膏の塗布については、皮膚の状態観察を随時行い、機械的に塗布することがないように努める。</li> </ol>